

★「ふさおとめ」「ふさこがね」は 7 月 9 日頃から出穂期  
★ほ場を良く見て適切な穂肥と水管理を！

### 1 君津地域の生育概況

4 月 20 日植えの各品種の出穂期は、最も早いところで「ふさおとめ」が 7 月 9 日頃、「ふさこがね」が 7 月 10 日頃、「コシヒカリ」が 7 月 18 日頃と予測されます。また、5 月 1 日植えのコシヒカリでも幼穂形成期を迎えているほ場も見られることから、各ほ場をよく見て、生育の進みに応じた作業を適期に実施しましょう。

### 2 生育調査ほの調査結果（6 月 24 日または幼穂形成期調査）

品種	年	田植え日	草丈 (cm)	茎数 (/m <sup>2</sup> )	単葉葉色	幼穂形成期
ふさおとめ (袖ヶ浦市)	28	4/17	54	587.5	44.3	6/15
	平年	4/16	57.6	663.0	43.3	6/18
	平年比	+1	94%	89%	102%	-3
ふさこがね (君津市)	28	4/18	47	660.9	40.0	6/16
	平年	4/19	55.9	592.2	41.9	6/20
	平年比	-1	84%	112%	95%	-4
コシヒカリ (君津市)	28	4/20	61	542.7	31.5	6/20
	平年	4/20	63.7	575.5	34.5	6/25
	平年比	±0	96%	94%	91%	-5
コシヒカリ (一発肥料) (富津市)	28	4/25	68	578.7	41.0	6/24
	平年	4/21	67.7	595.4	37.4	6/24
	平年比	+4	100%	97%	110%	±0
コシヒカリ (木更津市)	28	5/1	70	537.7	40.3	6/26
	昨年	5/8	65.8	596.8	39.2	7/2
コシヒカリ (君津市)	28	5/1	60	564.0	41.0	6/30

※ 幼穂形成期は、幼穂長が 1mm となった時で、出穂の 25 日前に当たります。

※ 平年値は過去 10 年（2006～2015 年）平均値。ただし、①富津市のコシヒカリ一発肥料のほ場は過去 9 年（2007～2015 年）平均値、②木更津市のほ場は 26 年から調査を始め、君津市の 5/1 植えコシヒカリのほ場は 28 年から調査を始めたため、平年値はなし。

- 農業事務所より郵便で配信している方へお願い -  
稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX に切り替えを進めています。  
電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 青木 y.aoki31@pref.chiba.lg.jp 0438-23-0299 (電話)

### 3 これからの管理のポイント

#### ① 米の品質向上のための水管理

登熟期の水不足は、減収と乳白米等の白未熟粒の多発生による品質低下の原因になります。特に出穂期～出穂後 10 日前後は高温の影響を受けやすいことや、自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも、水管理に十分注意しましょう。

##### ● 出穂3週間前から出穂2週間後までは湛水管理

高温時の品質低下を防ぐためにも、この期間は田面が露出しないよう、しっかりと湛水管理を行いましょう。

##### ● 出穂2週間後～出穂 25 日後までは間断かんがい

米粒の充実と品質向上のために出穂 25 日後までは、水が必要となります。

#### ② 農薬の収穫前日数に注意

各品種とも平年と比較して出穂期が早まる見込みです。ほ場ごとの出穂期をよく確認し、出穂期から収穫期までの目安の日数を参考にして、収穫時期の見込みを立て、各農薬の収穫前日数に注意して、農薬を使用しましょう。なお、隣接ほ場の方が収穫時期が早くなることが見込まれる場合は、より慎重に散布を行いましょう。

品種	出穂期から収穫期までの目安
ふさおとめ	33 日前後
ふさこがね	37 日前後
コシヒカリ	38 日前後

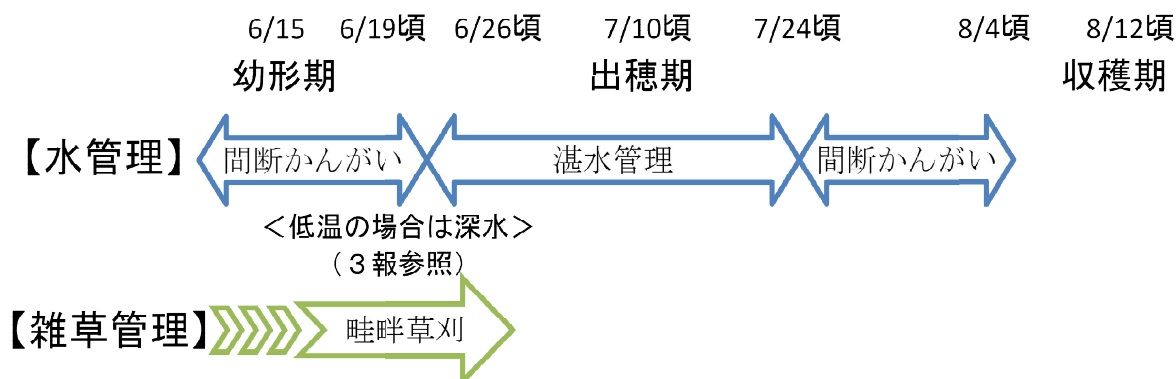
※出穂期とは全莖数の  
40～50%が出穂した日

※目安の日数は平年並みの  
天候の場合

#### ③ 斑点米カメムシ類の防除

斑点米カメムシ類の成虫は水稻の出穂後に水田に侵入して産卵し、それらの幼虫が乳熟期～糊熟期に籾を吸汁することで斑点米が発生します。出穂期前後の草刈りはカメムシ類を水田の中に追い込んでしまいますので、畦畔雑草は出穂2週間前頃までに刈り取りましょう。その後、収穫期まで雑草が出穂しないよう努めましょう。また、防除を行う場合は成虫飛来盛期である穂揃期に実施しましょう。

#### ○ 本報のまとめ（4/17 植え「ふさおとめ」の場合）



※ 次号は「8月1日頃」発行予定